

骨折観血的整復術（上肢骨折手術）の患者さん（翌日手術）（入院診療計画書）

患者ID: 性別: 生年月日: 病棟: 病室:

患者氏名: 病名: 症状:

経過	入院1日目 (/)	入院2日目 (/)	
		手術前	手術後
患者目標	入院・手術の準備をします	手術前の準備をします	手術後の全身回復を促します 手術部位のを安静を保ちます
治療・ 処置	外来ですること ☐ 血液検査・胸部レントゲン ☐ 麻酔科診察があります ☐ 手術部位にマーキング 	麻酔科から手術準備のお薬があります	点滴があります ・ 抗生剤(術後6時間) ・ 痛み止めの点滴(術後6時間) ・ 持続的な痛み止めを入れている場合は、尿を出す管を入れています
活動	ベッド上で安静に過ごしてください シーン固定または牽引を行います 	手術前に薬を飲んだり坐薬を入れた場合は、ふらつくことがあるため、ベッド上で安静に過ごして下さい	ベッド上で安静にします 手術をした方の手は、指先が上を向くように吊り上げて安静を保ちます 
食事	・ 通常通り食べられます	・ 午前の手術は朝食はありません。 ・ 午後の手術も朝食はありません。 ・ ()時のお茶またはお水()mlが最後です	・ 1時間後水()ml ・ 2時間後水()ml ・ 水を飲んで吐かなければ食事が始まります
清潔	温かいタオルで体を拭きます		温かいタオルで体を拭きをします
説明・ 指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 手術の時間をお知らせします ☐ 手術同意書・麻酔同意書をいただきます ☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性について評価します(有・無) ☐ 特別な栄養管理の必要性を評価します(有・無) ☐ 薬剤師による常用薬の確認、お薬の説明があります	☐ 午前、手術室に入室の場合は午前8時までに病室にお越しください。 ☐ 午後、手術室に入室の場合は午前11時までに病室にお越しください。	
メモ:			

2020/6/11 作成

骨折観血的整復術（上肢骨折手術）の患者さん（翌日手術）

（入院診療計画書）

患者ID: 性別: 生年月日: 病棟: 病室:

患者氏名: 病名: _____ 症状: _____

経過	入院3日目	入院4日目 ～ 6日目（退院日）
	手術後1日目	手術後2日目 ～ 4日目
	(/)	(/) ～ (/)
患者目標	痛みを薬で調整します 痛みに応じて手指を動かします 痛みに応じて立つ・歩くを少しずつ始めます	今後の治療予定が理解できています 不安なく退院します 
治療・処置	- 点滴、抗生剤（2、14時）があります。 - 痛み止めの点滴が終わったら点滴針を抜きます - 痛みに応じて追加で薬を飲みます - 尿の管を入れている場合は抜きます	痛む場合、薬を飲みます 適宜傷の処置をします
活動	- 歩行時・活動時は三角巾・アームスリングをつけます - 就寝時は、手術したほうの手は枕などで高く挙げておきます - 手指の曲げ伸ばしを行い、指の動き、しびれの有無などを確認します - トイレ、洗面時に立ちます - ベッド周りを歩きます	- 歩行時・活動時は三角巾・アームスリングをつけます - 就寝時は、手術したほうの手は枕などで高く挙げておきます - 手指の曲げ伸ばしを行い、指の動き、しびれの有無などを確認します - トイレ、洗面時に立ちます - ベッド周りを歩きます
食事	通常通り食べられます	
清潔	点滴が抜けた後、ギプスを保護してシャワー浴することが可能ですが、お子様の状況によっては、体拭きをする場合があります。	術後4週から6週で外来でピン抜去をします。 ピン抜去後は、ギプスシャーレなしで入浴します
説明・指導	ギプスをしていることで、歩くときにバランスを崩して転倒する危険があります。 幼児は、必ず手をつないで歩行をするようにしましょう。	☐ 次回外来日をお知らせします 外来診察前にレントゲンがあります ☐ レントゲン予約 

主担当医氏名: 印 主担当医以外の担当者: _____

年 月 日 上記の説明を受けました。 患者・家族サイン: _____ (続柄)

2020/6/11 作成